

1 題材名 衣服のリフレッシュ

2 目標

- 日常的に衣服の手入れが行われていることに気付き、衣服の手入れに関心を持ち、自分で衣服の手入れをしようとしている。 (家庭生活への関心・意欲・態度)
- 環境に配慮した洗濯の仕方を工夫している。 (生活を創意工夫する能力)
- 日常着の洗濯をすることができる。 (生活の技能)
- 衣服の手入れの必要性和手順や方法を理解している。 (家庭生活についての知識・理解)

3 題材について

(1) 題材を通して育てたい資質・能力

小学校学習指導要領解説 家庭編では、家庭科の内容C(1)イには、「日常着の手入れが必要であることが分かり、ボタン付けや洗濯ができること。」と示されている。ここでは、日常着の着方と手入れに関する実習などを通して、衣服への関心を高め、着方や手入れの基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、目的に応じた快適な着方を工夫する能力を育てることをねらいとしている。

そこで、本題材では、水洗い実験を通して洗濯に関心をもたせ、手洗いによる洗濯体験や、身近な環境への影響を考えた洗剤の量などを中心に扱いたい。また、児童の具体的な生活経験と関連付けて洗濯の手順や汚れの落ち方など実感を伴う学習になるようにしたい。そして、学習したことが実際の生活の場で生きて働く力となれるよう、身に付いた知識や技能を活用して自分で衣服の手入れをしようとする意欲につなげるようにしたい。

(2) 児童の実態

衣服を気持ちよく着るための日常的な手入れのひとつとして洗濯があるが、汚れた衣服は洗濯かごに出しておき、毎日きれいに洗濯されたものを着るという児童がほとんどで、洗濯は家族がしてくれるものという意識が強い。また、毎日行われている家庭の仕事であるにもかかわらず、洗濯機や乾燥機の普及などから手洗い(洗う、すすぐ、干す)による洗濯の経験も少ない。また、洗濯機を使ったり、自分の靴下や上履きを洗う経験はしているが、衣服の種類に応じた洗濯をしたり、環境を考えた洗濯の仕方を工夫したりすることまでは考えていないのが現状である。

(3) 指導観

① 実践的・体験的な活動を通して実感を伴って理解できる指導の工夫

水洗い実験や課題別のグループでの比較実験を行うことで、洗剤を用いなくてもある程度汚れが落ちること、洗剤の使用量のめやすや洗濯の仕方の工夫などについて実感的に理解できるようにする。

② 習得した基礎的・基本的な知識及び技能を活用する場面を設定した題材構成の工夫

比較実験で身に付けた知識や技能を活用して、自分の靴下の洗濯実習ができるような題材構成にし、環境に配慮するなどよりよい洗濯の仕方について考えることができるようにする。

③ 言語活動の充実(学習カード、観察、実習、話し合い活動など)

実験や実習において、写真などの記録や図・表を用いて、洗い方の工夫や使う洗剤の必要量などについて考えたり気付いたりしたことを表現できる学習カードを工夫し、生活をよりよくしようとする意欲や活用する能力などを身に付けることができるようにする。

4 題材の指導と評価の計画(8時間扱い) は本時 は活用の場面

学習過程	小題材及び目標	学習活動	家庭生活とのかかわり	生活に関連の深い言葉	評価規準			
					関心・意欲・態度	創意工夫	技能	知識・理解
見 つ め る	1 気持ちよく着るための工夫について考えよう。 (1)	(1) 手入れされていない服の観察をする。 (2) 洗濯の体験について話し合う。	家庭での洗濯の方法をインタビューしたりウォッチング	日常着の手入れ よごれ 着心地	衣服の手入れに関心をもって観察したり話し合ったりし			衣服を気持ちよく着るために、洗濯などの手入れが必要

	<p>・衣服に関心をもち、洗濯の必要性が分かる。</p>	①	したりする。	手洗い 取扱い 絵表示	ようとして いる。			なことが分かる。
調べる・試す	<p>2 洗濯についての課題をもと。(2)</p> <p>・洗濯について課題を見付け、その解決を目指して考えることができる。</p>	<p>(1)汚れた物の水洗い実験をする。①</p> <p>(2)洗濯のヒミツを知るためのキーワードを見付け課題をもつ。①</p>	実験をもとに試し洗いをして、結果をウォッチングする。		洗濯についての課題を見付け、その解決を目指して取り組もうとしている。	洗濯についての課題を見付け、その解決を目指して考えたり話したりしている。		
広げる・深める	<p>3 課題別グループで洗濯のヒミツをさぐる。(3)</p> <p>・洗濯に必要な基礎的・基本的な知識を身に付けることができる。</p>	<p>(1)課題別のグループに分かれ、家族に聞いたことをもとに比較実験の計画を立てる。①</p> <p>・手洗いの方法</p> <p>・洗剤の量</p> <p>・手洗いと洗濯機洗いの比較</p> <p>(2)比較実験を行う。①</p> <p>(3)分かったことを発表し合う。①</p>	<p>環境面で気を付けていることや気を付けなければならないことを再度確認しておく。</p> <p>他の課題についても試してみる。</p>	<p>もみ洗い</p> <p>つまみ洗い</p> <p>ブラシ洗い</p> <p>固形石けん</p> <p>洗剤の使用量のめやすすぎ</p>		課題を解決するために必要な実験の方法を考えたり、自分なりに工夫して実験したりしている。		手洗いを中心とした洗濯の仕方について理解している。
生かす	<p>4 衣服を洗濯しよう。(1)</p> <p>・洗濯に関する基礎的・基本的な技能を身に付けることができる。</p>	<p>(1)自分の靴下を洗濯する。①</p> <p>・環境への配慮を実践する。</p>		脱水 しわを のばす		環境に配慮するなど、よりよい洗濯の仕方を考え、工夫して洗濯しようとしている。	手洗いを中心とした洗濯ができる。	
	<p>5 学習をまとめよう。(1)</p>	<p>(1)洗濯実習して分かったことをまとめる。</p> <p>(2)家庭で実践したいことをまとめる。①</p>	洗濯機に入れる前に手洗いをしたり、家庭の洗濯の仕方を見直したりする。		学習したことを生かして、家庭でも実践しようとしている。			

5 本時の学習

(1) 目標

汚れた水洗い実験から洗剤を使った洗濯の必要性に気づき、洗濯についての関心をもつ。

(2) 準備・資料

ワークシート、汚れのついた布（古い体操服）、タライ（なるべく白）、ストップウォッチ

(3) 展開

配時	学習内容及び活動	・指導上の留意点 ◎評価	国 主題に迫る手立て 園 家庭とのかかわり								
5 20	<p>1 本時の学習内容を確認する。 水洗いで、汚れを落としてみよう。</p> <p>(1) 学習の見通しをもつ。 (2) 予想を立てる。</p> <p>2 水洗い実験をする。 (1) 4種類の汚れのついた布を観察する。</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">①</td> <td style="width: 50%;">②</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">泥</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">油</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">醤油</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">()</td> </tr> </table> <p>(2) 水洗いする。</p>	①	②	泥	油	③	④	醤油	()	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を振り返り、水洗いで衣服についての汚れが落ちるのかどうか課題の見通しをもてるようにする。 ・3つの共通課題とグループで考えた汚れを水洗いすることを伝える。 ・汚れの観察をグループごとに行い、水洗いでどのくらい落ちるか予想する。 ・時間を計りながら、水洗いをさせる。 ・水洗い後、汚れの落ち具合をバケツの水の汚れ方や布の変化から、自分の言葉や絵でまとめられるようにする。 	<p>国生活の中で児童の衣服に付きやすい汚れ（グループ課題はケチャップ、ソース、マヨネーズなど）を考えて実験を行う。</p> <p>国水洗い実験や課題（汚れ）別のグループでの比較実験を行い、洗剤を用いなくてもある程度汚れが落ちることが実感的に理解できるように図や言葉、文などが記入できるワークシートにする。</p>
①	②										
泥	油										
③	④										
醤油	()										
15	<p>3 水洗いで気付いたことを話し合う。</p> <p>(1) グループで話し合う。 (2) 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水洗いでは落ちる汚れと落ちない汚れがある。 ・力を加えると汚れを落とすことができる。 (洗い方など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に汚れのついている布の写真を掲示しておき、水洗い後の布をグループごとの机の上に広げ、落ち具合の比較ができるようにしておく。 ・水洗いだけでは落ちない汚れもあることから、洗剤を使った洗濯の必要性に気付けるようにする。 <p>◎汚れの水洗い実験から洗剤を使った洗濯の必要性に気付き、洗濯についての関心をもっている。 (ワークシート・発表)</p>	<p>国調べて分かったことを分かりやすく伝えるためにワークシートには記録した言葉などを順序よく書き表せるようにしておく。</p>								
5	<p>4 本時の学習を振り返り、次時の課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯の仕方について調べてくることを確認し、家で試し洗いをしたり家の人へのインタビューをしたりすることを計画する。 ・自己評価カードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は家族へインタビューしたことをもとに洗濯についての課題を見付けることを伝える。 	<p>園水洗い実験で体験したことをもとに洗剤を使った洗濯の仕方について家族にインタビューしたり自分が試し洗いをしたりして、次時の学習に生かせるようにしたい。</p>								